



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ  
コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 一昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏

TEL 03-4218-0096

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,440		66		120		84	
2019年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 12百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	30.95	
2019年3月期第2四半期		

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の業績及び2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2020年3月期第2四半期	22,063		8,655		39.2	
2019年3月期	26,435		8,411		31.8	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,655百万円 2019年3月期 8,411百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,342	0.9	514	19.6	600	20.7	400	16.5	144.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,880,000 株	2019年3月期	2,880,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	49,200 株	2019年3月期	299,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,723,657 株	2019年3月期2Q	2,580,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による外需の低迷で製造業が減速していることもあり、景気の先行きには不透明感がありましたが、個人消費は消費増税前の駆け込み需要も加わり、全体としては緩やかな増加基調を保っています。当社グループを取り巻く環境では、主要顧客である鉄道業者の業績は比較的堅調に推移しましたが、設備投資には慎重な姿勢も見られました。

そのような状況のもと当社グループは、「鉄道分野の事業領域拡大、ソリューションサービスの提供」等を全社基本方針に掲げ、業績拡大に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,440,118千円、営業利益は66,345千円、経常利益は120,677千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,294千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 鉄道事業

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。当第2四半期連結累計期間では、中国国内の車両製造低迷の影響がありましたが、電気用品、車体用品及び設備・システム品が牽引し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、売上高は13,859,854千円、営業利益は187,601千円となりました。

#### ② 一般事業

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっております。主な商材はコネクタや電子部品であり、当第2四半期連結累計期間では、世界経済の不透明感を受けて、半導体業界や通信販売業者向けをはじめとして電子部品の受注が減少し、売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は1,580,263千円、営業損失は121,256千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債、純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は22,063,178千円で、前連結会計年度末に比べ4,372,575千円減少しております。主な要因は、商品(1,828,802千円から2,014,976千円へ186,173千円増)、繰延税金資産(119,253千円から126,348千円へ7,095千円増)が増加した一方、現金及び預金(8,359,562千円から6,299,323千円へ2,060,238千円減)、受取手形及び売掛金(7,122,284千円から5,345,420千円へ1,776,864千円減)、電子記録債権(2,416,563千円から1,921,155千円へ495,408千円減)が減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は13,408,164千円で、前連結会計年度末に比べ4,616,534千円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金(12,644,463千円から9,151,102千円へ3,493,360千円減)、電子記録債務(1,481,034千円から831,347千円へ649,687千円減)、未払法人税等(216,969千円から61,378千円へ155,590千円減)が減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は8,655,013千円で、前連結会計年度末に比べ243,959千円増加しております。主な要因は、2019年6月26日に東京証券取引所市場第二部に上場したことに伴う自己株式の処分により資本剰余金(445,943千円から689,738千円へ243,794千円増)が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、6,577,323千円と前連結会計年度末に比べ2,060,238千円(23.9%)の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの支出は、2,399,088千円となりました。営業活動による資金増加の主な要因は、売上債権の減少額2,264,952千円、税金等調整前四半期純利益173,367千円等であります。資金減少の主な要因は、仕入債務の減少額4,141,994千円、たな卸資産の増加額191,086千円、未払金の減少額170,597千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの収入は、114,260千円となりました。投資活動による資金増加の主な要因は、投資有価証券の売却による収入82,454千円、投資不動産の賃貸による収入27,727千円等であります。資金減少の主な要因は、無形固定資産の取得による支出6,222千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの収入は、231,480千円となりました。財務活動による資金増加の要因は、自己株式の売却による収入296,000千円であります。資金減少の要因は、配当金の支払額64,520千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年6月26日付の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,359,562	6,299,323
受取手形及び売掛金	7,122,284	5,345,420
営業未収入金	1,522,745	1,522,342
電子記録債権	2,416,563	1,921,155
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品	1,828,802	2,014,976
その他	313,276	243,420
貸倒引当金	△236	△164
流動資産合計	23,062,999	18,846,474
固定資産		
有形固定資産	75,522	66,899
無形固定資産	313,371	282,741
投資その他の資産		
投資有価証券	1,917,278	1,806,412
繰延税金資産	119,253	126,348
その他	949,664	937,601
貸倒引当金	△2,336	△3,300
投資その他の資産合計	2,983,860	2,867,063
固定資産合計	3,372,753	3,216,703
資産合計	26,435,753	22,063,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,644,463	9,151,102
営業未払金	1,801,390	1,672,260
電子記録債務	1,481,034	831,347
短期借入金	207,090	205,140
未払法人税等	216,969	61,378
賞与引当金	233,724	236,922
その他	441,617	277,699
流動負債合計	17,026,290	12,435,849
固定負債		
退職給付に係る負債	774,612	742,702
役員退職慰労引当金	163,668	169,275
資産除去債務	37,276	38,989
その他	22,851	21,347
固定負債合計	998,409	972,314
負債合計	18,024,699	13,408,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	445,943	689,738
利益剰余金	7,429,395	7,449,170
自己株式	△62,480	△10,274
株主資本合計	7,912,759	8,228,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545,139	488,225
為替換算調整勘定	△46,844	△61,746
その他の包括利益累計額合計	498,294	426,479
純資産合計	8,411,053	8,655,013
負債純資産合計	26,435,753	22,063,178

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	15,440,118
売上原価	13,594,130
売上総利益	1,845,987
販売費及び一般管理費	1,779,642
営業利益	66,345
営業外収益	
受取利息	5,267
受取配当金	25,398
賃貸料収入	27,727
補助金収入	8,807
持分法による投資利益	205
その他	23,428
営業外収益合計	90,833
営業外費用	
支払利息	4,158
賃貸原価	5,118
為替差損	9,185
貸倒引当金繰入額	963
支払手数料	17,036
その他	39
営業外費用合計	36,501
経常利益	120,677
特別利益	
投資有価証券売却益	52,689
特別利益合計	52,689
税金等調整前四半期純利益	173,367
法人税、住民税及び事業税	66,056
法人税等調整額	23,015
法人税等合計	89,072
四半期純利益	84,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,294

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	84,294
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△56,913
為替換算調整勘定	△14,901
その他の包括利益合計	△71,815
四半期包括利益	12,479
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	12,479

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	173,367
減価償却費	50,339
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	891
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,197
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,607
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△31,910
受取利息及び受取配当金	△30,665
支払利息	4,158
投資有価証券売却損益 (△は益)	△52,689
売上債権の増減額 (△は増加)	2,264,952
営業未収入金の増減額 (△は増加)	403
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191,086
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,141,994
営業未払金の増減額 (△は減少)	△129,130
未払金の増減額 (△は減少)	△170,597
前受金の増減額 (△は減少)	10,831
未収入金の増減額 (△は増加)	14,647
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30,252
その他	△14,521
小計	△2,203,948
利息及び配当金の受取額	30,665
利息の支払額	△4,158
法人税等の支払額	△221,647
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,399,088</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△5,266
無形固定資産の取得による支出	△6,222
投資有価証券の取得による支出	△5,923
投資有価証券の売却による収入	82,454
投資不動産の賃貸による支出	△2,887
投資不動産の賃貸による収入	27,727
貸付金の回収による収入	1,200
その他	23,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>114,260</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△64,520
自己株式の売却による収入	296,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>231,480</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,890
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△2,060,238</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,637,562
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>6,577,323</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、合弁会社QUATRO YASHIMA PRIVATE LIMITEDを新たに設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,859,854	1,580,263	15,440,118	—	15,440,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,859,854	1,580,263	15,440,118	—	15,440,118
セグメント利益又は損失(△)	187,601	△121,256	66,345	—	66,345

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。